

2022 年度

事業計画書

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)



2022 年 3 月 23 日

学校法人 帝塚山学院

目 次

2022年度の主要な事業計画

I	はじめに P 1
II	学校法人帝塚山学院の中期計画	
	[1] 中期計画の全体図 P 3
III	2022年度 帝塚山学院の事業計画の骨子	
	[1] 法人本部 P 4
	[2] 幼稚園 P 5
	[3] 小学校 P 6
	[4] 泉ヶ丘中学校高等学校 P 8
	[5] 中学校高等学校 P 10
	[6] 大学・大学院 P 11
IV	2022年度 予算の概要	
	[1] 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書） P 13
	[2] 事業活動収支計算書 P 14
	[3] 学生・生徒等数推移表（2016年度～2022年度） P 15

2022年度（令和4年度）の主要な事業計画

I はじめに

2021年度は、大学キャンパス統合事業が完了するなど第二次中期計画スタートの年となるにふさわしい1年となりました。大学は、4月に泉ヶ丘キャンパスの全面リニューアルを終え、次世代型スマートキャンパスとして、多様な学びと活発な交流を生み出す学び舎に生まれ変わり、改革のセカンドステップに移行しています。大学の統合を無事に終えられたことはもちろんのこと、幼稚園から大学まで教職員一丸で、改革の一步を踏み出し、法人の収支も均衡する見通しとなっています。

一方で、新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出が繰り返されましたが、感染防止対策を徹底しながら、学びの機会を確保するため、幼稚園から大学まで、対面形式やオンライン形式などを活用する学びのスタイルの定着を図ることができました。今後も、変異株の出現など予断を許さない状況はしばらく続くとみられますが、引き続き、教育の質の維持向上を図っていきます。

こうした新型コロナウイルス対応や本学院の第二次中期計画2年目を着実に進めていくために、役員・教員・職員1人ひとりが「自ら気づき、自ら考え、自ら行動する」との精神のもと、第二次中期計画の改革方針である「エンロールメント・マネジメントの強化」「教職協働の強化」「財務基盤の強化」の取り組みを進めていきたいと考えております。

教育行政の新しい動きとしては、現在、文部科学省「学校法人制度改革特別委員会」において、理事会と評議員会の位置づけを見直すことなどを含めた私立学校法改正案の議論がなされています。これらの動向を踏まえて、帝塚山学院にふさわしいガバナンス体制の整備を図っていく予定にしております。

このほか、民法が改正され約140年ぶりに、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられます。高校3年生や大学1年生でも18歳になれば、生活に関わる契約を自身のみで結べるようになりますし、加えて高校の学習指導要領の改訂により、

「金融教育」も義務化となります。今後ますます教育内容の充実が大切であると考えております。

また、私立学校の経営を支える募集状況を見てみると、私立大学の2021年春の入学定員充足率は、初めて100%を下回っており、定員割れとなった大学の割合は、ほぼ半数に迫りました。18歳人口が減少する中、私立大学の淘汰の波はとどまるところを知りません。大学だけではなく、すべての設置校においても、少子化の影響は色濃く反映されています。こういった状況ではありますが、2022年度の本学院の入学者募集状況については、現時点では確定ではありませんが、昨年度に引き続き、幼稚園から大学院まで募集入学定員を充足できる見通しとなっています。これは、これまで培ってきたノウハウに改善を加え、募集活動を地道に取り組んできたことが、志願者の多くの共感を得られ、結果につながったものと考えております。

学院の培ってきた「体験を通して、学びの楽しさを知る」教育を提供し、今後も、学修者本人が「学院に通いたい」と心から思ってもらえるような、選ばれる総合学園をめざしてまいります。

第二次中期計画の2年目にあたる今年度は、上述したことを強く意識し、改革の基本方針をさらに推し進めることを念頭に置き、2022年度事業計画での具体的施策を策定し、予算に反映させ、実効性を確保してまいります。法人および各学校の年度計画の詳細は、後掲の事業計画に示していますので、ご確認ください。

今後も理事長、学長、校長、園長のリーダーシップのもと、教職一体となって、力の漲った社会で輝ける人材づくりに尽力してまいります。

II 学校法人帝塚山学院の中期計画

[1] 2021年度から2025年までの第二次中期計画の全体図



Ⅲ 2022年度 帝塚山学院の事業計画の骨子

[1] 法人本部の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 優秀な人材の採用・教育の質向上
- (2) ICT体制の強化

2. 教職協働の強化

- (1) 各校園へのサポート強化
- (2) 人事制度の見直し
- (3) 職員全体を対象とした研修制度の確立
- (4) 定年延長を見据えた給与制度、退職金制度の見直し
- (5) 学院ブランドイメージの向上

3. 財務基盤の強化

- (1) 募集定員確保のための体制強化
- (2) 業務効率化の徹底
- (3) 月次決算制度と収支予測制度の導入
- (4) 募金施策による増収

[2] 幼稚園の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 教育の質の保証

- ① 体験型プロジェクト保育の実施
- ② ICT 機器を利用した教育活動の研究。
- ③ 食育活動の実施
- ④ SDG s への取り組み
- ⑤ 表現力・語彙力の向上
- ⑥ 安全教育の継続
- ⑦ 運動能力・体力の向上
- ⑧ マナー教育の充実

(2) 指導力向上

- ① 教員研修・園内研修の実施
- ② くぼた脳研の活用
- ③ 安全教育・救命技能の向上
- ④ 人事考課制度、評価の実施
- ⑤ 担任ローテーションの実施
- ⑥ 保育マネジメントの充実

(3) 保育環境の充実

- ① 保育室環境
- ② 園庭環境
- ③ 自園給食の実施

(4) 進路指導の充実

(5) 幼小連携の充実

2. 教職協働の強化

(1) 募集活動の意識共有

- ① 募集活動への協力と助言
- ② 入園希望園児の紹介

- (2) 補助金獲得の提案
- (3) 幼稚園運営の援助協力他法人の学校運営の具体例の調査提示・提案
- (4) 事務処理の IT 化
- (5) 教員採用・人材確保の確立
- (6) 契約職員、アルバイトの有期雇用の廃止
- (7) 寄付金獲得のための具体案の提示
- (8) 特別協力金納付率 100%

3. 財務基盤の強化

- (1) 安定的財務基盤の確立
- (2) 定員確保
- (3) 保育料値上げの検討
- (4) 特別協力金納付率 100%
- (5) 寄付金の募集「まつかさ応援募金」
- (6) 他学部との連携を模索

[3] 小学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 教員の質の向上
 - ① 教科指導力の向上
 - ② 学級経営力の向上
 - ③ 人材の確保と、適材適所配当
- (2) 学力（認知能力）を育成する教育

- ① 学力向上に向けた取り組みの継続と強化
- ② 「学力向上教材」の作成と利用
- ③ 漢字学習方法の精査
- ④ 「進路ファイル」の周知
- ⑤ T A S Cの充実

(3) 非認知能力を育む教育の徹底

- ① 生活指導の強化と徹底
- ② 学校行事の意義の向上
- ③ 協働学習の手法の確立と実施
- ④ 給食の在り方と食育
- ⑤ 「道徳」科目の確立

(4) 未来につなぐ力の育成

- ① 進路指導の取組強化と周知
- ② キャリア教育
- ③ I C T教育
- ④ 英語教育

2. 教職協働の強化

(1) 組織改革の計画的実施

- ① 組織改革
- ② 校務分掌・業務必携
- ③ 児童に対する教員連携強化

(2) 適材適所に必要な人材の確保と配当の計画

(3) 教職員の勤務環境の整備

(4) 各部署との連携の強化

- ① 全体
- ② 帝塚山学院幼稚園
- ③ 帝塚山学院中学校高等学校、帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校
- ④ 帝塚山学院大学
- ⑤ 本部事務局

- ⑥ アドミッションセンター
- ⑦ 保護者・P T A

3. 財務基盤の強化

- (1) 児童定員の確保
- (2) 適正な児童定員数と、学校授業料の計画的検討
- (3) 外部資金の獲得

[4] 泉ヶ丘中学校高等学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

- (1) 進路指導部
 - ① 国公立大および国公立医学部等現役での合格者増
- (2) 国際教養部
 - ① ネイティブマネジメントと四技能に関する英語授業力の向上
- (3) 入試対策部
 - ① 募集定員確保とレベルの維持・上昇
- (4) 生徒指導部
 - ① 校内規範意識のさらなる向上
- (5) 保健部
 - ① 迅速かつ的確なコロナ対応とメンタルケアの継続
- (6) 企画部
 - ① 各プロジェクトの円滑かつ充実した内容での実施

(7) 生徒会・学年活動

- ① 学校行事の生徒主導への変換
- ② 計画性のある継続的实施

(8) 教務部

- ① 日常教育活動の円滑な実施
- ② 教科主任との連携強化

(9) 組織的活動の徹底（組織ごとの会議運営と全体方針の徹底）

2. 教職協働の強化

(1) 有益な勤務時間管理

(2) 教育施設の有効活用

(3) P T A、同窓会との連携強化

(4) 有効な教員採用

(5) 感染症対策

3. 財務基盤の強化

(1) 入学生確保

(2) 補助金の獲得

(3) 支出の見直し

[5] 中学校高等学校の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 生徒指導力の強化

- ① 創究講座の充実とアクティブラーニングの強化
- ② エンロールマネジメントによる募集と進路のリンク
- ③ 多様な進路への対応
- ④ 基本的な生活習慣の確立

(2) 教科指導力の向上

- ① ラーニングコモンズ第二期工事
- ② ICT環境の整備
- ③ 教員研修の実施
- ④ 優秀な人材の採用
- ⑤ リモート教育の強化

(3) 生徒の学力向上

- ① 各コースの特色に合わせた学力向上

2. 教職協働の強化

(1) 教職協働の促進

(2) ガバナンスの強化

(3) 教育環境の整備

3. 財務力の強化

(1) 入試募集の強化

(2) 外部資金の獲得

- ① 大阪府や文科省等の競争的補助金の獲得

[6] 大学・大学院の事業計画

1. エンロールメント・マネジメントの強化

(1) 教育課程の質の保証

- ① 基礎学力の強化と検証
- ② 学修成果の点検・評価
- ③ 4年以内の退学者率改善
- ④ 教育改善への継続的取り組み
- ⑤ 抽選科目の運用改善
- ⑥ 養護教諭採用試験合格者数の増加
- ⑦ 自主学習グループの運営と改善
- ⑧ 大学・保護者・学生との連携強化

(2) 学修支援の充実

- ① 学生の能力に応じた入学前教育の実施
- ② 学修支援体制の充実（多様な授業形態の推進）
- ③ 学生の自主学習や教員とのコミュニケーションを推進
- ④ テヅカポートフォリオの活用
- ⑤ I Rを活用した教学マネジメントの実行

(3) キャリア支援

- ① 内定率100%の維持
- ② 資格取得強化
- ③ 企業との関係強化

(4) 学生を大切に作る大学づくり（入学前から卒業までをサポート）

- ① 多様な課外活動の支援（学生生活等の活性化）
- ② 学生指導及び学生生活支援
- ③ 経済的支援（各種奨学金等）

(5) 学修環境の整備

- ① 食堂、図書館の改善
- ② I T活用環境の改善
- ③ 企業とのコラボ活動

(6) 地域社会への貢献

2. 教職協働の強化

(1) 教学マネジメントの機能性

(2) 教員の配置・職能開発、職員の研修

(3) 内部質保証の実施

3. 財務基盤の強化

(1) 入学定員の充足

(2) 外部資金の獲得

(3) 人件費の抑制

(4) 物件費の削減

[1]資金収支計算書(活動区分資金収支計算書)

(単位:百万円)		2021年度 補正予算 ①	2022年度 当初予算 ②	2021年度補正予算vs2022年度当初予算 差異 ②-①
教育活動資金収支差額	A	△598	550	978
教育活動収入	①	6,952	6,847	△275 キャンパス統合関連の補助金減、退職者減に伴う財団繰入収入減
教育活動支出	②	6,455	6,289	△166 キャンパス統合による合理化、退職者減に伴う退職関連費用減
差引	①-②	497	558	△109
調整勘定等		△1,095	△8	1,087 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
施設設備等活動資金収支差額	B	△366	△475	△109
施設整備等活動資金収入	①	305	99	△206
施設整備等活動資金支出	②	719	574	△145 <2022年度主要な投資予定> 住吉キャンパス:教室改装、空調更新、コモンズ工事 泉ヶ丘キャンパス:教室改装、中庭人工芝工事
差引	①-②	△414	△475	△61
調整勘定等		48	0	△48 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
小計	C=A+B	△964	75	869
その他の活動による資金収支差額	D	△23	△19	3
その他の活動資金収入	①	1,828	1,077	△751
その他の活動資金支出	②	1,850	1,096	△754 有価証券の期日落ち及び購入の減
差引	①-②	△23	△19	3
調整勘定等		0	0	0 参考:期末時点の未払金、未収入金等の額の調整
支払資金の増減額	E=C+D	△987	56	872
前年度繰越支払資金	F	4,486	3,499	△987
翌年度繰越支払資金	G=E+F	3,499	3,555	△115

[2]事業活動収支計算書

(単位:百万円)		2021年度 補正予算 ①	2022年度 当初予算 ②	2021年度補正予算vs2022年度当初予算 差異 ②-①	
教育活動収入	A	7,004	6,848	△157	
学生生徒等納付金		4,775	4,765	△10	
手数料		70	70	0	
寄付金		114	103	△11	
経常費等補助金		1,562	1,503	△59	キャンパス統合に伴う修繕費等の補助終了
付随事業収入		259	277	18	スクールバス収入増
雑収入		224	130	△94	退職者減による退職金財団からの繰入収入及び退職給与引当金の戻入減
教育活動支出	B	6,992	6,882	△111	
人件費		4,316	4,259	△57	
給与等経常的人件費		4,077	4,101	24	昇給等
退職金関連等的人件費		239	158	△81	退職者減
教育研究経費		2,031	1,970	△62	キャンパス統合関連支出残の減少、及びキャンパス統合による合理化
管理経費		645	652	7	
教育活動収支差額	C=A-B	12	△34	△46	
教育活動外収入	D	27	22	△4	
受取利息・配当金		25	20	△4	
その他の教育活動外収入		2	2	0	
経常収支差額	E=C+D	38	△11	△50	
特別収入	F	5	19	14	
その他の特別収入		5	19	14	
特別支出	G	37	0	△37	
その他の特別支出		37	0	△37	前年度:狭山キャンパスの土地建物等の売却消費税
特別収支差額	H=F-G	△32	19	51	
基本金組入前当年度収支差額	I=E+H	6	8	1	
基本金組入額	J	△699	△328	371	<2022年度主要な投資予定> 住吉キャンパス:教室改装、空調更新、commons工事 泉ヶ丘キャンパス:教室改装、中庭人工芝工事
当年度収支差額	K=I+J	△693	△320	372	

[4] 学生・生徒数推移表 (2016年度～2022年度)

2022年度当初予算

学 科 等	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2020年度			2021年度			2022年度			
	入学者数	在籍者数	在籍者数	入学者数	在籍者数	在籍者数	入学者数	在籍者数	在籍者数	入学者数	在籍者数	在籍者数	入学者数	在籍者数	在籍者数	入学者数	在籍者数	在籍者数	入学者数	予想入学者数	予想在籍者数	
	5月1日現在	9月1日現在	5月1日現在	5月1日現在	9月1日現在	5月1日現在	5月1日現在	9月1日現在	5月1日現在	5月1日現在	9月1日現在	5月1日現在	5月1日現在	9月1日現在	5月1日現在	5月1日現在	9月1日現在	5月1日現在	5月1日現在	9月1日現在	9月1日現在	
(大 学)																						
小・中学校学部①	81	330	319	66	281	276	96	286	282	151	359	355	190	474	469	146	540	535	144	583		
人間科学部②	333	1,250	1,240	295	1,217	1,189	329	1,222	1,217	405	1,322	1,309	285	1,254	1,240	283	1,211	1,204	288	1,174		
情報科学部③	42	182	181	49	175	171	46	170	168	77	211	208	0	166	165	1	111	111	0	71		
心理学部	119	530	522	114	463	460	134	454	452	148	494	486	147	503	497	171	541	538	158	566		
食物栄養学科	148	493	492	112	515	513	104	490	490	126	478	477	137	471	466	108	466	463	130	486		
キャリア英語学科	24	45	45	20	64	45	45	108	107	54	139	138	1	114	112	3	93	92	0	51		
大学院 ③	14	27	27	13	28	28	14	27	26	20	34	34	21	41	41	20	40	39	20	38		
大 学 計 ①+②+③	428	1,607	1,586	374	1,526	1,493	439	1,535	1,525	576	1,715	1,698	496	1,769	1,750	449	1,791	1,778	452	1,795		
					△ 81	△ 93	65	9	32	137	180	173	△ 80	54	52	△ 47	22	28	3	4		
(住 吉 校)																						
高等学校 ④	252	730	724	253	753	748	270	756	751	262	760	757	227	740	736	257	731	728	280	750		
中学校 ⑤	250	734	732	225	723	721	243	704	701	278	730	728	258	765	763	279	801	798	270	800		
中・高等学校 計 ④+⑤	502	1,464	1,456	478	1,476	1,469	513	1,460	1,452	540	1,490	1,485	485	1,505	1,499	536	1,532	1,526	550	1,550		
小学校 ⑥	122	681	677	111	673	673	106	676	671	121	676	671	121	673	673	117	669	667	128	681		
幼稚園 ⑦	53	140	141	41	136	136	52	142	144	51	151	149	59	153	156	56	160	161	53	158		
住吉校 計 ④+⑤+⑥+⑦	677	2,285	2,274	630	2,285	2,278	671	2,278	2,267	712	2,317	2,305	665	2,331	2,328	709	2,361	2,354	731	2,389		
(泉ヶ丘校)																						
高等学校 ⑧	277	772	770	311	836	833	299	871	868	288	881	879	292	868	868	334	902	893	291	898		
中学校 ⑨	177	527	526	191	526	525	173	535	534	155	516	515	157	483	483	167	477	475	173	492		
泉ヶ丘校 計 ⑧+⑨	454	1,299	1,296	502	1,362	1,358	472	1,406	1,402	443	1,397	1,394	449	1,351	1,351	501	1,379	1,368	464	1,390		
高校以下計 ④～⑨	1,131	3,584	3,570	1,132	3,647	3,636	1,143	3,684	3,669	1,155	3,714	3,699	1,114	3,682	3,679	1,210	3,740	3,722	1,195	3,779		
総 合 計 ①～⑨	1,559	5,191	5,156	1,506	5,173	5,129	1,582	5,219	5,194	1,731	5,429	5,397	1,610	5,451	5,429	1,659	5,531	5,500	1,647	5,574		
9/1在籍者-5/1在籍者					△ 44	△ 44		△ 25	△ 25		△ 32	△ 32		△ 22	△ 22		△ 31	△ 31				
対前年度同月日	53	△ 91	△ 96	△ 53	△ 18	△ 27	76	46	65	149	210	203	△ 121	22	32	49	80	71	△ 12	43		
					63	66		37	33		30	30		△ 32	△ 20		58	43		39		

高以下の対前年度増減